

# 総合治水推進週間イベントニュース

平成19年5月12日(土) 快晴



5月15～21日の「総合治水推進週間」を目前にした5月12日、『ならの防災を知ろう、地域で守る総合治水2007』と題して、大和川流域における総合治水対策の推進に向け、流域住民に「総合治水」の認識と理解を深めていただくPRイベントを開催しました。

## 催事の概要

今年で10回目となる総合治水イベント。今回は防災調整池でもある橿原市のダイヤモンドシティ・アルルにおいて、「身近な施設に秘密あり」というテーマで、奈良県下の学校や、公共施設等身近な施設も「流域対策」として活用されていることを知って頂くことを中心に、総合治水の重要性をPRしました。防災調整池として位置づけのあるショッピングセンターでのイベントは全国でも初めての試み。身近なショッピングセンターが防災のために重要な役割を果たしているということに、多くの人たちが驚いていました。



奈良盆地の南に位置する橿原市のダイヤモンドシティ・アルルでイベントを行いました。

10:00～22:00までの開催中、約1,300人の来場者がありました。ステージは総合治水博士講座と現場見学会を中心に実施。現場見学会では、施設の役割を実際に見てもらうことで、総合治水が防災として重要な事業だということを理解していただきました。また、子供達に楽しんでもらう為に、ぬり絵コーナーを設置。なんと500人以上の子供も達が参加をしてくれました。

会場はパネル展とクイズラリーで構成。クイズラリーでは防災について理解して頂き、クイズの参加者には、災害時に役立つ非常食を試食していただきました。

模型やパネルを使っの博士講座。都市化が洪水の要因を作っていることがよくわかります。

## ステージイベント

1. オープニング
2. 総合治水博士の「なるほど・ザ・総合治水」
3. 防災調整池「アルル」見学会

## コーナー展開

1. パネル展
2. 非常食試食体験
3. キャラクターぬり絵コーナー
4. 総合治水クイズラリー



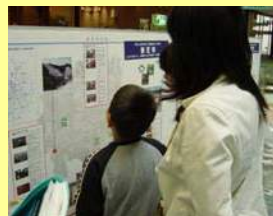
吹き抜けの広場に各種コーナーを展開。「何だ何だ?」と多くの人が集まってきました。



博士講座は計5回実施。どの回も多くの人が集まり、熱心に話を聞いていました。



## 会場の様子



皆さん、自分達の暮らす町の総合治水施設を熱心に探していました。



クイズラリーには約250人の人が参加してくれました。



ぬり絵は子ども達に大人気。



「おいしい!」と初めて食べる非常食に驚きの様子。

## 見学会の様子

雨水を貯める為、駐車場の地面が傾いていることをボールを転がして確かめました。



昨年大雨が降った時、この駐車場には約40cmも水が貯まったんだよ!!

貯めた水を少しずつ流す水路を見学しながら、防災調整池の役割について理解を深めて下さいました。



子ども達も親御さんに教わりながら、一生懸命アンケートに答えてくれました。



## 参加者のアンケートより

「楽しい催しでした。」「自分自身も備えを少しでもしていないと。」「今まで知らない事が多かったので、たくさんの事を知りたいと思った。」「改めて防災について考えることができ、良かった。自分でも出来ることを少しでも実施していきたいと思いました。」「年に数度、繰り返し地域を変えて開催されることを望みます。」